

学校教育計画 (平成28年度～平成31年度)

学校名	西湘 高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	---------	------------------	---------

1 学校のミッション

全日制普通科の高等学校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、リーダーとして国際的に活躍できる人材の育成をめざし、教科横断的な「地球理解教育」や国際性を育む教育に取り組んできたが、今後はさらに、生徒が自ら課題を発見し解決する力の向上を図り、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。

また、これまで理数コースで取り組んできた成果を学校全体の特色とする改編に取り組むとともに、平成28、29、30年度の3年間「プログラミング教育研究推進校」として研究開発に取り組む、その成果を地域の県立高校に様々な機会を設けて普及する。

2 学校教育目標

- 基礎基本を確実に習得するとともに、自発的な学習態度を養い、確かな学力の育成を図り、生徒個々の進路実現を支援する。(学力の向上・学習意欲の喚起・進路指導の充実)
- 豊かな情操を培い、社会性を涵養し、個性の伸長を図る。(道徳教育の充実)
- 知・情・意・体の調和した発達をとおして、自主自立の精神を涵養する。(部活動の活性化)
- 規則正しい生活習慣を身につけ、心身の健康の増進を図る。(食育の推進)
- 互いに人格を尊重し、進んで民主的な社会に参加する精神を高める。(シチズンシップ教育の推進)
- 職業観・勤労観の育成をめざしたキャリア教育を推進し、インターンシップの内容の充実を図る。(キャリア教育の推進)

3 計画策定時点での課題

- SSHや理数コースの教育活動で培った実績を基盤に、新たな特色を示す必要がある。
- 生徒による授業評価において「生徒主体の授業の工夫」の点数が他の項目と比較して低い科目がある。
- 多くの生徒は落ち着いた環境の中で学校生活を送っているが、メンタル面での課題を抱えた生徒も存在し、組織としてサポートする体制が十分とはいえない。
- まじめに勉強するが、将来を見据えた進路について積極的に考え、自分の実力をさらに伸ばそうという意識の生徒が多いとはいえない。
- 地域等と連携した教育活動の実践と通常の学習活動との関連性が見えにくい。
- 大きな事故につながりかねないミスについて未然防止に向けた対策が必要である。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決能力、プレゼンテーション能力を伸長する教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。 学校行事の企画・運営を生徒主体のものとし、生徒の社会性と実践力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までの成果を生かした教育課程の編成を行う。 主体的・協働的活動を取り入れた授業を推進する。 指定校としてプログラミング教育の研究推進に取り組む。 授業時間数の確保と質の充実に取り組む。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりのニーズに応じた支援のため、教育相談コーディネーターを核とした生徒支援体制の構築に努める。 部活動の活性化をとおして社会性の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援教育、インクルーシブ教育についての理解を深め、生徒一人ひとりのニーズを把握、共有化して支援する。 学校全体としてまとまりのある部活動のルールづくりを進める。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導の充実に図ることで、生徒が自らの将来を積極的に開拓し、実現につなげる能力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリアを考えるための方策の充実に図り、生徒の将来を考える動機づけと成長への支援を充実する。 インターンシップ等、キャリア形成に必要な体験活動の充実に取り組み、活性化を図る。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 地域や関係機関の教育力を生かした連携を推進し、地域に開かれ、地域に信頼される学校づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した科学的・実践的な防災教育を推進する。 関係機関との連携による理数教育を推進する。 学校支援人材バンクの活用を図る。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 職員一人ひとりが意欲と責任をもって安心安全な環境づくりに取り組み、課題解決に向けて積極的に取り組む学校文化を形成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の心身の健康に留意し、協力し合う職場環境を作る。 事故の未然防止に向けて、演習形式を取り入れた実践的な研修の機会を充実する。 グループ業務の検証と再構築を進める。